

鈴木ひでなおの 3月議会報告

新年度予算成立

100億円超の大型予算！

当初予算で100億を超えるのは、バブル期以来のこと。積極財政かと思いきや義務的経費が増え、その分上乗せしたもの。12億あった町の貯金も半分取り崩すという厳しい予算編成です。その中でも、新たな取組も！

道の駅がオープンします！



- ・運営費用を充実
- ・専属の地域おこし協力隊を配置
- ・出店するキッチンカー等を支援
- ・観光協会を強化！

- ◎小学校に生まれ変わる旧西中を2年間かけて小学校化（右上に関連記事 ➡）
- ◎学校再編に伴う通学方法を検討
- ◎下里地区の児童を路線バスで通学へ
- ◎高齢者の帯状疱疹ワクチン接種助成
- ◎ごみ分別アプリに外国語対応追加
- ◎パトリアの再整備 }
- ◎給食センター更新 }
- 基本計画の策定

★ 第12号 ★

発行 令和7年4月7日
発行及び編集人
鈴木ひでなおを育てる会

④ 3つの質問をしました

※質問と回答は、要旨です。「原文通り」ではありません。

Q1 地域コミュニティの危機

- ①区長会等での好事例等の紹介は
- ②コミュニティ作りのための方策は

A1 防災地域支援課長

- ① 地域コミュニティの希薄化が進んでいます。町内の先進事例や長年の取組、町外の好事例を紹介しています。
- ② 「いきいき地域活動補助金」や「コミュニティ施設等整備事業補助金」を交付することで、活動の円滑化・活性化の支援を行ってきます。

Q2 田畠における鳥獣被害

- ① 鳥獣被害の現状は
- ② 被害の拡大への対応は

A2 環境農林課長

- ① 令和5年度の被害状況は、水稻野菜、いも類合わせて26アール、被害額37万8千円、捕獲数はイノシシ53頭、シカ81頭、アライグマ334頭で、大きな増減はありません。
- ② 電気柵等の防除機材の購入への補助金交付や農業者への啓発、獣友会による鳥獣の捕獲を実施します。また、鳥獣被害の農業共済制度への加入案内を行っています。

Q3 新給食センター

- ① 給食が無償化された際の質の担保は
- ② 有機農産物の使用率アップのための取組は
- ③ 新センターに炊飯施設はできるのか

A3 学校教育課長

- ① 食材等の価格高騰に対応するため、新年度予算に1100万円を計上しています。給食費を値上げせず、質も量も確保して、おいしく栄養価の高い給食の維持に努めています。
- ② 給食センターと生産者をつなぐ会議を継続して、安全でおいしい地元の食材を使った給食を提供しています。
- ③ 炊飯施設や災害時に活用できる施設の整備も含めて調査・検討を行い方向性を示します。

質問を終えて…

私の所感

◎地域コミュニティは、住民の町内会離れ、役員のなり手不足等で立ちゆかなくなりつつあります。コロナ禍での行事縮小や中止も大きな要因です。

東小川では、隣近所の助け合い「顔の見える関係」を築くため、昨年から活動の主体を丁目毎に移し、予算をつけて試行錯誤を始めました。地域コミュニティは、防犯・防災の要でもあります。

八和田の地区民体育祭も誰もが参加できる内容に変わりました。

いずれにしても地域コミュニティの維持・発展に努めたいものです。

今後の私の検討課題

【 魅力ある学校教育の実現 】

4月から西中の生徒は、旧欅台中（小川中）に通い、西中の校舎は、竹沢小・大河小・みどりが丘小の児童が通うことになりますので、2年かけて小学生が使える施設にします。

学校が減る分、残る学校の施設設備は充実します。しかし、教育は、中身こそが重要です。おがわ学をはじめ、小川町の子どもは、9年間の中で〇〇の力がつくというものを考え、提言していきたいと考えています。

ご意見・ご要望は



070-5374-5891



marusu745340@gmail.com



YouTube



ホームページ

☆YouTubeで町の文化や行事、心に感じる思い、私の考えなどを配信しています。
ぜひ、ご覧になってみてください。



3つの政策の進捗状況

1 自然環境を守る

小川町の美しい田園風景は、まさに農家の方々の力によります。しかし、農家の高齢化と継承者不足で遊休農地や耕作放棄地が増えています。

大きな流れとして、土地を集約して大規模農業を行うことで解決していくこうとしていますが、農地は利権があり、簡単に交換して集約することはできません。また、同じ広さの農地であっても、給排水の状況や土壌や日あたり等も違います。

まずは、道の駅で農作物がより売れるように、米作りで利益ができるように考えていきます。



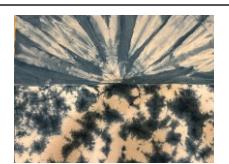
2 子育てをサポート

小川町の「こども計画」のパブリックコメントを子育て世代や識者に頼みました。徒歩や自転車で行ける子ども居場所作りやマイノリティや障がいに配慮した取組を求めました。

3 高齢者をサポート

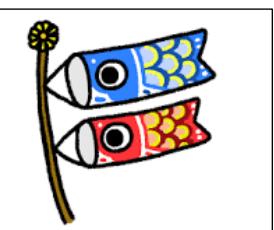
高齢者の交通手段としての移送サービス事業の存続について、厚生文教委員会で訴えるとともに、社会福祉協議会へも相談しました。ただ、なり手不足と運転手の高齢化で容易ではありません。

UECHUが新たな発信の場に！



藍染めの体験

“染め色みむらさん”が講師です。
月1回のペースで、体験教室を行うそうです。



子どもたちと鯉のぼり作り

細川紙技術保持者の内村さんと地域おこし協力隊の小田切さんが協力して。
技術者協会の研修生の作品も含め140枚の和紙を幼稚園や保育園、学童に送って模様や色をつけます。それをゴールデンウイークにUECHUに泳がせるそうです。



◎東小川自治会の特別委員会より

アンケートのまとめができました
住民の切実な思いや願いとともに、
利用促進のための提案もあります。

◎小川と東秩父の観光が便利に

小川に営業所ができたイーグルバスが
ウェブアプリを導入しました。

一般質問の有用性

一般質問や質疑への執行部の答えは、「研究します」あるいは「検討します」です。

しかし、新年度予算を見ると、それが実現していることもあります。

- ・帯状疱疹ワクチン接種へ支援を
→ **接種費用の一部を補助**
- ・パトリアの自転車置き場が半分使えない
→ **昨年度末に修理**
- ・AED使用時、女性のためにガーゼを
→ **AEDに三角巾を同梱**
- ・運転免許返納者に特典を
→ **デマンドタクシーの補助も追加**

以上は一例で、私や他議員が指摘したことです。それが始まりでした。
これからも奮励努力していきます。

路線バスの存続のため

(様々な取組・進行中)

公共交通計画の見直し

今年度、430万円かけて
町が再プランニング

和紙ロードMaaS

画面の質問に答えることで、
AIが路線バスの時刻と連携した観光コースを作成します。